

2月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成27年2月24日(水) 午前9時30分から11時50分
- 2 場 所 宗像市役所北館2階202会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之
委員 川上美子
委員 中岡政剛
委員 宮司葉子
教育長 遠矢修
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、子ども部長柴田祐治、市民協働・環境部理事兼文化・スポーツ推進課長磯部輝美、教育部主幹指導主事齊藤智恵美、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事高木陽一郎、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長衣笠哲哉、子ども育成課長中野万由美、子ども育成課社会教育主事久保謙司、図書課長長谷川愼、コミュニティ・協働推進課参事村上治彦、秘書政策課長谷川勝憲、秘書政策課主事村上真珠アイリーン、経営企画課世界遺産登録推進室世界遺産登録推進係長山口哲司、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課政策係企画主査船越健樹、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子
- 傍聴 なし

5 前回(1/20定例、2/9臨時)議事録の承認(資料1)

6 審議事項

- ①議案第61号 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の市町村別結果の公表について(資料2)《承認》

【遠矢教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲30秒)

【教育政策課長】 平成27年2月9日付けで福岡県教育委員会から、平成26年全国体力・運動能力、運動習慣等調査の市町村別結果の公表について意向確認の通知が届いています。公表内容と方法につきましては23ページの中ほどから記載されている通りです。本日追加で資料を配布しております。公表資料について、市町村ごとに表している通り、小中学校別、体力合計点、平均値を表わしております。棒グラフにつきましては、市町村、全国、県男女別と並べて公表するという事です。この結果の公表につきましては、平成26年度から公表するという事になっております。

【中岡委員】 宗像市として同意するという事でしょうか。

【教育政策課長】 宗像市について公表に同意するかを県に回答しなくてはなりません。

【井上委員長】 議案61号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

②議案第62号 宗像市不祥事防止対策検討委員会設置要綱(案)の制定について(資料3)《承認》

【遠矢教育長】 資料3参照。議事録なし。(▲30秒)

【教育政策課長】 昨年、飲酒運転等の不祥事が相次いで発生したことで福岡県では不祥事防止対策実施状況の把握と効果的な対策をとるため情報交換の場として教育事務所ごとに不祥事防止対策委員会が設置されております。福岡地区不祥事防止対策委員会では、教育長と人事担当課長で構成されており、これを受け各市町村教育委員会に不祥事対策が目的の検討委員会を設置するよう指導がありました。本市におきましても不祥事防止対策検討委員会を設置するため要綱を制定するものでございます。資料3に要綱(案)を載せております。第2条に検討事項、第3条には検討委員会の構成で、教育部長、主幹指導主事、教育政策課長、指導主事を考えております。第4条には検討委員会の開催等で毎年度、原則として四半期に一回という事で年に3回程度を考えておりますが必要に応じて開催したいと思います。庶務について教育政策課で処理するとしております。

【教育部長】 本日も承認頂きましたら、委員会を発足し新年度にはこの委員会が活動できるようにしたいと思っております。

【川上委員】 第2条で、個人面談の実施等による服務規律の確保となっておりますが、これは検討委員会が面接をするわけではなく、どういった面接をするかという事を決めて各学校に下すという解釈でよろしいでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 今現在も校長先生が人事等で職員の面談をしていますので、その際に併せて服務規律やメンタル部分に対しても対応していただきたいと考えております。

【井上委員長】 議案62号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

③議案第63号 機構改革に伴う関係規則の整備に関する規則(案)について(資料4)《承認》

【遠矢教育長】 資料4参照。議事録なし。(▲30秒)

【教育政策課長】 機構改編に伴い、関係例規の部課名の変更を行う改正です。本日追加で資料4参考資料として第1条から第15条までの規則をつけています。

【川上委員】 参考資料の最初の1ページ目で、「総務部長」とあるのが「教育部長」、総務部総務課長とあるのが「教育部政策課長」と読み替えるとはどこに対して読み替えなのでしょう。

【教育政策課長】 中身をそのまま流用する形で市長部局にきちんと書かれた規則があるのですが、教育委員会についてもその内容を一部読み替えることによって内容を同じも

のにするという意味合いの規則です。今回の線を引いているものについては、機構改革に伴って資料4の中で資料の中には15の例規が載っていて変更部分だけを書いているのですが、変更部分が現状の規則の中でどこにあるのか見えるように参考資料をつけております。川上委員がご質問されている箇所は、教育部長を教育子ども部長に、教育部教育政策課長を教育子ども部教育政策課長に読み替えるとなっています。

【川上委員】 わかりました。

【井上委員長】 議案63号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

【遠矢教育長】 議案64号、議案65号、議案66号、議案67号は関連がありますので、一括して審議をお願いできますでしょうか。

【井上委員長】 一括して審議してよろしいでしょうか。

【各委員】 はい

④議案第64号 宗像市子ども読書活動推進計画策定委員会規則を廃止する規則(案)について(資料5)《承認》

⑤議案第65号 宗像市子ども読書活動推進計画策定委員会規則(案)の制定について(資料6)《承認》

⑥議案第66号 宗像市市民文化・芸術活動審議会規則を廃止する規則(案)について(資料7)《承認》

⑦議案第67号 宗像市市民文化・芸術活動審議会規則(案)の制定について(資料8)《承認》

【遠矢教育長】 資料5、資料6、資料7、資料8参照。議事録なし。(▲30秒)

【教育政策課長】 宗像市子ども読書活動推進計画策定委員会規則と、宗像市市民文化・芸術審議会規則は、市長部局との関わりで市長部局の規則として制定されています。今回の機構改編に併せ例規の整備を進めており、教育委員会関連部署が所管する例規については、教育委員会規則に位置づけることにしました。その改正の手続きで廃止と新規制定を行います。規則の内容に変更はありません。

【川上委員】 内容は変わらないのですね。

【教育政策課長】 はい。内容は変わりません。

【井上委員長】 議案64号、議案65号、議案66号、議案67号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

7 協議事項

①宗像市学校教育基本計画(案)に関する市民意見提出手続の意見及びその回答(案)について(資料9)

【齋藤主幹指導主事】 平成26年12月7日から平成27年1月7日までパブリックコメントを実施しました。個人の5人、団体から1件の提出がありました。計画案の赤字のところ意見により加筆・修正した箇所になります。9ページの目指す学校像のところにありますプロデュース力、コーディネート力という言葉について用語説明を加えております。「学校と協働しながら」という部分が後の方についていたのですが、前につけた方が言葉としてわかりやすいという事で修正しております。11ページの「組織マネジメント」、12ページ以降に書かれている「学力総合プロジェクト」「豊かなところ総合プロジェクト」「体力向上の総合プロジェクト」の説明を加えております。それ以外につきましては、言葉の使い方をいくつか修正しております。20ページに用語と内容説明を加えています。インクルーシブ教育などわかりにくい言葉については、もう一度検討したうえで説明を加えていこうと思っております。

【井上委員長】 これだけの意見質問が出されるということは、関心が高いのかなと感じています。コメントをいただいた方への対応というのは個別に回答するのですか。

【教育政策課長】 個別に回答するのではなくて、広報誌や市ホームページに回答書を書き載せることになります。

【宮司委員】 46ページの17の下の部分の回答の部分で、教師の多忙感を軽減するために人的配置等の支援と書いてありますが、どういう人的配置を考えているのかを書いたらもっとわかりやすいと思います。

【齋藤主幹指導主事】 言葉を加えます。

【川上委員】 市民の方からこれだけたくさんの意見をいただきありがとうございます。少し話がそれますが、私たちは教育委員会事業に関する施策や用語について分かるのですが、市民の方にはまだ浸透していないのかなと思います。教育委員会の施策に基づく様々な取り組みについてタウンプレスなどを活用して周知したらどうでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 周知手法について検討していきます。

8 報告事項

①行政報告（資料10）

【遠矢教育長】 1月24日わくわく体験報告会について、今年はメイトムが改修工事のためユリックスで開催されましたが多くの方が見に来られていました。26日は、中央中学校で猪肉を使用したカレーライスの給食で猪肉をPRする試食会がございました。2月5日に日の里中学校吹奏楽部の表敬訪問があり、九州大会にクラリネットのアンサンブルで出場し銅賞を受賞されました。2月6日は県の教育センター研究発表会では、宗像市から東郷小学校と南郷小学校の長期研修発表がありました。

②後援報告（資料11）

議事録なし（資料11参照）

③宗像市グローバル人材育成プラン(案)について(資料12)

【秘書政策課長】 議事録なし。資料12参照(▲5分30秒)

【井上委員長】 具体的な取り組み例でたくさんの新規事業がありますね。

【秘書政策課長】 計画は5年間という事になっており、平成27年度に全ての事業を実施するという事ではありません。実行計画としてではなく、わかりやすいように具体的な事業例という形で出しております。

【中岡委員】 70ページ下の方に四角囲みがございしますが、「お互いを尊重する」のところで、「自分自身や自国の考えを持ち」とあるのですが、いろんな意味があり解釈が難しいと思われるのですがいかがでしょうか。

【秘書政策課長】 外国の方と話す際に自分の国のことを理解して国がどのような立場にあるかという事も理解したうえで、他の国の方と接していかなければいけないのではないかなという意味です。

【井上委員長】 「自国の考え」という言葉に違和感があります。違う表現はないのでしょうか。

【中岡委員】 自国というと、伝統、文化歴史、あるいは日本の将来像や現状だとか経済的、政治的、社会的なものなど色々なものがこの「自国」の中に入ってくるだろうと思うのですが、それを全部ここに表すのは難しいと思います。

【秘書政策課長】 パブリックコメントとして検討させていただきます。

【川上委員】 76ページ(2)の基本施策2の「人物像の実現に向けた～」というのは、人材像ではないのでしょうか。

【秘書政策課長】 人材像に修正します。

【川上委員】 73ページの小学生の第2ステージの四角囲みの「世界とコミュニケーションできる」の3つ目ですが、「発言には責任が伴う事も理解したうえで」という「責任」という言葉の意味はどのようなもののでしょうか。発言に責任を持つというのは、年齢がかさめばかさむほど、より本当に重い言葉で小学校の段階で掲げる目標なのかと疑問に感じます。

【齋藤主幹指導主事】 自分の発言に対して責任を持つことは小学校の段階で求められるものです。日常のコミュニケーションの中でも、自分が発言したことに対して知らないという事ではなくて自分が今伝えようとしていることの意味とか、深く考えたうえで伝えるというのは大事な事かなと思います。

④宗像市私立幼稚園障害児教育振興事業補助金交付要綱の一部改正について(資料13)

【子ども育成課長】 平成26年度から、重度障がい児の受け入れを行う私立幼稚園につきましては、職員の加配の補助を拡充するために要綱の一部を改正しておりました。また、私立幼稚園に対する障害児補助金について平成26年4月以前は県の補助金が別途あり、市の補助金がそれを補完するという趣旨でありましたので、補助対象経費は県の補助金に

併せ、人件費以外の支援を要する経費も認めておりました。平成26年度は、経過措置としてこの補助対象経費につきまして改正を行いませんでしたが、平成27年4月1日からは幼稚園に交付する補助対象経費を人件費のみとするため、一部改正をいたします。

【井上委員長】 概算で金額はどのくらいなのでしょう。

【子ども育成課長】 補助金額は前回の改正で月額68,000円にしました。

【中岡委員】 障がいを持った子どもを受け入れる幼稚園を増やしていこうとしているのに、補助金を人件費のみにした場合、施策に逆行しているように感じます。受け入れを進めて行くために別のことを考えてあるのでしょうか。

【子ども育成課長】 私立幼稚園では、障がい児の受け入れを進めてあるところとそうでないところがあります。昨年改正したときは、幼稚園に対して重度障がい児を受け入れる園に対しては、人件費を拡充することで受け入れを促進する目的がございます。幼稚園に対しては県の補助金を人件費以外の施設整備や教材費に活用し、市の補助金を人件費に充てて受け入れを促進していただきたいということです。

⑤平成25年度宗像市教育委員会事業点検・評価報告書について（資料14）

【教育政策課長】 平成25年度の教育委員会事業点検・評価につきましては、1月20日の定例教育委員会の前に評価委員会の井上委員長から報告を受けましたが、今回その点検評価結果に対する各課の対応方針を掲載した報告書について報告をします。

資料14参照（▲3分30秒）

⑥平成26年度宗像市立小中学校卒業式及び平成27年度宗像市立小中学校入学式への出席について（資料15）

【教育政策課長】 26年度の卒業式について、中学校は27年3月13日金曜日、小学校は3月18日水曜日に実施されます。27年度の入学式については、中学校は4月9日木曜日、小学校は4月10日金曜日に実施されます。

⑦平成27年度宗像市立学校の児童生徒数・学級数（推計）について（資料16）

【教育政策課長】 平成27年2月1日現在の仮学級編成の児童生徒数推計を報告します。26年度から比較しますと、全体の児童生徒数は20名減、クラス数については5クラスの減です。特別支援学級の増設につきましては2月下旬に県の通知を待つて正式に決定されます。

⑧2月学校の日について（資料17）

【遠矢教育長】 自由ヶ丘中学校では3年生を中心に見学しましたがプリント学習をしていました。特別支援学級の子どもが英語の授業を受けていました。自由ヶ丘南小学校では学級活動の公開授業で、特別支援学級では、保護者も参加した交流授業をしていて保

護者と子どもが一体となった授業が行われていました。河東西小学校では、5年生社会科でタブレットを使った調べ学習をしていました。3月2日にはタブレットを使った公開授業が提案されています。

【宮 司 委 員】 午前中に日の里西小学校に行ってきました。校長先生とのお話では、今年の1年生はすごく元気がいいということで、担任の先生だけではなく他の先生や福岡教育大学の支援の成果が出たのか、すごく最近落ち着いてきましたという事でした。1年生も4月から新1年生が入るという事で、自分たちがお兄さんお姉さんになるという気持ちが出てきたのかなという事ですごくいい方向に向かっているみたいです。平成27年度から第Ⅱ期中小一貫教育が始まりますが、現在は3校で交流ができているという事です。子どもたち同士、先生同士はすごくつながりができたけれども、後は保護者にもう少し小中一貫教育のアピールをしていくことが課題とのことでした。

【中 岡 委 員】 玄海東小学校では、前の週に給食感謝週間を学校全体で取り組んだという事で、授業の中では、給食をテーマに音楽や国語の授業を行っていました。前週に全校で取り組んだ活動を授業の中でさらに深める活動を見てきました。子ども達は、どの学年も集中した授業が行われていました。玄海中学校では食進会の人たちがゲストティーチャーとして入り生徒たちは楽しそうに調理をしていました。教頭先生の話では、地域の人たちも子どもたちの豊かな成長を願っている事と、支援を惜しまないという気持ちを持っている事を子どもたちに気づかせていきたいと考えておりますという事でした。玄海小学校では5年生の書写の授業でゲストティーチャーが入り毛筆をしていました。6年生は卒業文集の作成で脇目も振らずに取り組んでいました。日の里中学校では7年生8年生がテスト中だったので9年生の授業を見学しました。その日が福岡地区の私立高校の合格発表の日でしたので、緊張した様子で授業を受けていました。校長先生のお話では2年生が少し気になるところがあったが、最近は随分と落ち着いてきたとのことでした。

【川 上 委 員】 城山中学校では、非常に落ち着いた授業の様子で3年生の姿勢がとても美しく教室の中に凜とした空気が張りつめていました。校長先生とのお話の中で、城山中学校は大規模校ですが、多様な子どもたちと折り合いをつけながら学んでいくというのは非常に子どもたちの力になると話がありました。赤間西小学校では、図工の授業を見学しました。きめ細かな指示で手順を踏み、ひとつ終わったら次に行く前に一度子どもたちをきちんと落ち着かせ、非常に配慮のある授業でした。ランプシェードを作っていて暗幕を閉め教室の照明を全部消し幻想的な雰囲気が出るように先生の演出がされていて、児童みんなですらってスイッチを押しました。子どもたち同士で見合ってお互いに褒めあうまでを授業の時間内に収まるようにして大変感動しました。他にもいろいろ仕掛けがあり、こういう授業は子どもたちにとって思い出になると思いました。

【井 上 委 員 長】 南郷小学校では校長先生から保幼小の連携についてより密な連携が必要ではないかということで、情緒不安定な児童の増加に頭を悩ませているというお話がありました。本校に赴任された若手の先生が他の先生方の支援により成長した姿を見て人

材育成がいかに重要であるかを再認識したという話を伺いました。3年生の音楽の授業では仰向けでの発声練習など工夫されているのは印象的で児童が楽しんでいる様子でした。中央中学校では、校長先生から生徒が大変落ち着いており、この状況をいかに継続させるかというお話がありました。東郷小学校では校長先生から4年生が2分の1成人式を実施するというお話を伺いました。

⑨小中一貫教育について（当日配布資料）

【正路指導主事】 平成26年度小中一貫教育に関わる視察及び発表等について報告します。当日配布資料参照（▲2分30秒）

⑩福岡教育大学との連携事業について（資料18）

【中教育連携コーディネーター】 今年度版の連携総合プランの暫定版実績報告が出来上がりました。最終版は3学期の実績を入れて5月頃になります。14ページにその成果と課題を載せています。福岡教育大学の取り組みですが、39ページに記載されていますが来年度は教育総合インターンシップで4年生の後期に1日8時間の実習を10日間行う予定です。今年度のモデル校である玄海中学校、河東西小学校、中央中学校、自由ヶ丘小学校は良く頑張ってくださいました。学校関係者や古川先生との日程調整で3月2日の5時間目に電子黒板とタブレットを活用した公開授業を行います。赤間小学校の外国語授業では留学生からメッセージをもらうという授業も計画しております。

⑪その他（当日配布資料）

・世界遺産イベント等開催案内について

【世界遺産登録推進係長】 当日配布資料参照（▲4分30秒）

・むなかた館イベント等開催案内について

【郷土文化交流課長】 当日配布資料参照（▲3分40秒）

【井上委員長】 次回の定例教育委員会は、3月24日午後2時00分から市役所北館2階202会議室で行います。

次回開催予定日3月24日（火）午後2時00分開始

平成27年3月24日

井上裕之

中岡政剛